

技術広報委員会委員 殿

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会
事務局 大石 直豪

第37回 技術広報委員会議事録

1. 開催日時 令和7年10月23日（木） 15時00分～16時10分

2. 開催方法 テレビ会議ツール「Zoom」

3. 参加者 (敬称略)

委員長 広滝 隆行

副委員長 岩上 智一

委員 荒木 勇輝

同 加藤 好広

同 森本 雅樹

同 山下 俊哉

同 松村 孝

同 松島 誠二

同 竹中 史朗

事務局 大石 直豪

合計10名

欠 席

同 鬼頭 賢吾

同 清水 壺浩

同 石田 康平

議事経過

事務局より開催宣言および出欠状況の報告の後、広滝委員長から「今月前半の資器材研修会には委員各位にご協力いただき、ありがとうございました。上半期を終えて、これからの下半期については来年、再来年についても視野に入れながら委員各位と議論を重ねたい。足元の資器材研修会の改善改良やHPのメンテナンスに加えて、道路陥没事故の検討委員会の動向や、上下統合団体としての活動など多岐に亘るが活発な議論をお願いしたい。」と挨拶があった。

この後、審議に入った。

第1号議案：令和7年度 前期活動状況について

広滝委員長より、令和7年度 前期活動状況について11月の臨時総会で報告する資料に基づき、詳細な説明があった。

その後、質疑を募ったが特に無く、第1号議案を終えた。

第2号議案：HPのアクセス状況について

事務局より、資料に基づきHPのアクセス状況について、詳細な説明があった。

その後、質疑を募ったところ、委員長から以下の意見があった。

- ・アクセス数の多いコンテンツに見て欲しいページのリンクを貼るなどの工夫も必要。
- ・新しいコンテンツのアップや、新着情報をアップした際のアクセス数の変化動向も分析することも必要。

以上により、第2号議案を終えた。

その他：1) 水道分科会の開催について

事務局より、10月24日（金）に第1回水道分科会が開催される旨の共有があった。

その他：2) GM開閉マニュアルのHP掲載（案）について

当工業会の会長と事務局が9月に近畿地整に訪問した際に、大地震発災後の下水道管路調査支援へ被災都市以外が出動してもGM開閉操作ができなかったため、マニュアルをHPなどに掲示して欲しいとの要望をうけたため、対応について如何すべきか技術広報委員会とGM維持管理推進委員会に議論を要請した。

委員各位から以下の意見があった。

- ・下水協規格では「不法開放防止性」が要求されており、この性能をオミットすることに繋がる掲載の可否についても検討すべき。下水協にも相談する必要があると考える。
- ・不法投棄についても、法に抵触することを明記した上でHPに掲載してJGMAにおよぶリスクを回避した方が良い。
- ・国交省と自治体間で、完全クローズドされたイントラネットが整備されているはずであり JGMAは開閉マニュアルを提供し、下水道管理者側で運用を確立して貰う方法もある。
- ・JGMAはGM製造者団体で、販売したあとは購入した自治体が管理することになる。
自治体が不法開放防止や不法投棄防止性能を期待して購入したものを、製造者側が開閉操作を公開することに道義的な課題があると思われる。
- ・発災後の緊急的な対応として、開閉マニュアルを期間限定で閲覧可能とするパスワードを付与するなどの対応も考えられる。対応終了後はパスワードを変更する等の対策も必要。
- ・HP等で不特定多数の方が閲覧できる状態は避けた方が良い。

以上の意見を整理して、別途工業会としての対応を検討し、国交省にも相談することとして議論を終えた。

以上により、本日の議案審議のすべてを終了した。

閉会挨拶

岩上副委員長より、「資器材研修会も多数の会員の協力をいただき無事に終わることができた。下期も引き続きご協力をお願いしたい。」と閉会挨拶があった。

事務局より、次回の委員会開催について案内があり、本日の委員会を終えた。

この議事録を証するため、委員長次に記名押印する。

令和7年10月23日

一般社団法人
日本グラウンドマンホール工業会

技術広報委員会委員長 広滝 隆行

広
滝